

GIGA校内研修 スタートブック 2024



～GIGAスクール構想の実現へ～

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、
子供たち一人一人に公正に個別最適化され、
資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ



日常的な ICT 活用により、全ての
子供たちの可能性を引き出す！

授業実践



校内研修



石川県教員総合研修センター

**GIGA校内研修の進め方（参考資料）も
合わせてご覧ください。**

「スマートスクールネット→オンライン研修→GIGA スクール
ライブラリ」よりダウンロード可能です。

GIGA校内研修スタートブック 2024



GIGA校内研修の進め方 （参考資料）



石川県教員総合研修センター

目 次

【めざすもの】

- 1 GIGAスクール構想の実現に向けて……………p.2
- 2 学びの変容イメージ……………p.3

【組織体制づくり】

- 3 GIGA校内研修推進リーダーとは……………p.4
- 4 校内組織体制(例)……………p.5

【校内研修】

- 5 GIGA校内研修の内容(例)……………p.6
- 6 GIGA校内研修のもち方(例)……………p.7

【年間計画と実践報告】

- 7 GIGA校内研修 年間計画の作成……………p.8
- 8 GIGA校内研修 実践報告の作成……………p.10

【研修センターのバックアップ】

- 9 GIGA校内研修推進リーダー研修……………p.11
- 10 GIGAスクールライブラリ……………p.12
- 11 GIGAに関するサポート……………p.13



I GIGAスクール構想の実現に向けて

GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想の目的

- ・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する
- ・これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

石川県教員総合研修センターにおける教員の ICT 活用指導力強化に向けた取組

【令和6年度GIGAスクール対応研修 全体概要】



※GIGA 校内研修推進リーダーは、複数名指定することができる。ただし、GIGA 校内研修推進リーダー研修に申し込み、受講するのは、**原則、各校1名**とする。なお、定時制、特別支援学校等については学校の実態に応じて、複数名を申し込み、受講することができる。

2 学びの変容イメージ

校内研修を進めることによって教員の学びが深まり、ICT活用指導力が高まります。それに伴って、児童生徒の学びの質も高まり、資質・能力も一層確実に育成できるようになります。

導入
活用
発展

教員の学びの変容イメージ

(推進リーダーが企画・運営)
GIGA校内研修(例)

知る・考える
使う・慣れる

授業実践で 高め合う

協働的な学び

- ・GIGAスクール構想
- ・情報活用能力とは
- ・基本的なルール作り
- ・トラブル対応
- ・端末の基本操作
- ・授業支援ソフト等

- ・協働学習に活用
- ・対話的な学びを支援
- ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・児童生徒が自ら端末を文房具として自在に扱えるような支援
- ・児童生徒が問題解決に役立てることができるような支援

※GIGA 校内研修には、全体研修だけでなく、学年会、教科部会、若プロ等も含まれます。

個別最適な学び

(オンデマンド動画による個人の研修)
GIGAスクールライブラリ等

ステージ1 概論、機器・アプリの使い方

ステージ2 授業場面ごとの活用例

ステージ3 教科における授業実践例

児童生徒の学びの変容イメージ

(文部科学省「『未来の学び』構築パッケージ」より)

ステップ1
“すぐにも” “どの教科でも”
“誰でも”活かせる！人！台端末

ステップ2
教科の学びを深める。
教科の学びの本質に迫る。

ステップ3
教科の学びをつなぐ。
社会課題等の解決や
一人一人の夢の実現に活かす。

3 GIGA校内研修推進リーダーとは

GIGA校内研修推進リーダーは、

各校におけるGIGAスクール構想実現の牽引役です。

学習場面における児童生徒のICT活用を促進するために、自校の教員のICT活用指導力を高める校内研修を企画・運営します。

ICTの活用により、

・教科の学びを深めたり、各教科の学びをつなげたりするなど、児童生徒の学びの質を向上させます。

・児童生徒自身がICTを含む様々なツールを駆使し、自在に使いこなせる力を育成します。

これらを目指し、管理職が整えた校内の組織体制により、次に掲げることを行います。

・各校の実態に即した(実態把握)、GIGA校内研修の企画・運営と評価・改善を行います。

・「GIGA校内研修推進リーダー研修」を受講します。

GIGA校内研修推進リーダーが関わる研修は、次の2つです。

G I G A 校 内 研 修

..... 実態把握・企画・運営・評価・改善

GIGA校内研修推進リーダー研修

..... 受講・還元

管理職に相談しながら、校内の教員と連携し
研修を進めていきましょう。



4 校内組織体制（例）

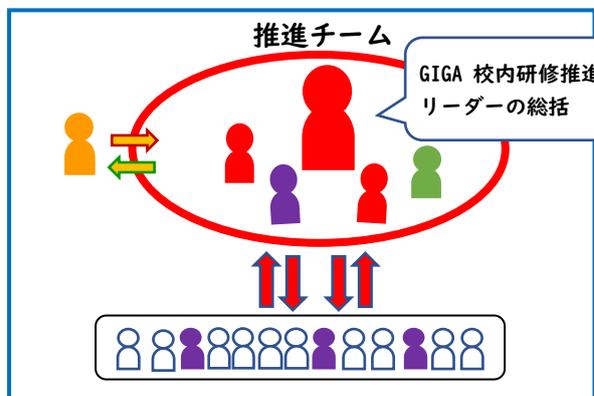
管理職は、**昨年度の成果と課題**や学校の実態を踏まえ、**GIGA校内研修推進リーダー**を指定し、推進チームを中心とした校内組織体制を整えます。

GIGA校内研修推進リーダーは複数名指定することができる。ただし、**GIGA 校内研修推進リーダー研修**に申し込み、受講するのは、**原則、各校1名**とする。なお、**定時制、特別支援学校等**については学校の実態に応じて、複数名を申し込み、受講することができる。



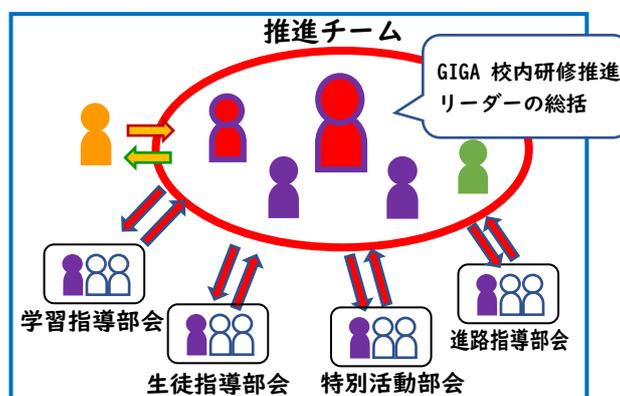
【GIGA 校内研修が計画通り進めることができてい学校の例】

① G I G A に特化した組織をつくる例



ICT の活用が得意な教員と ICT の活用は苦手だけれども、授業づくりの上手い教員も推進チームになることで、わからない教員の困り感などを捉えた校内研修を行うことができます。

② 主任等で推進チームを組織する例



主任等が推進チームになることで校内研修の時間を確実に月の予定に組み込むことができます。高等学校では教科主任で推進チームを組むことで、月毎に各教科1人ずつ授業を校内で公開することもできます。

5 GIGA校内研修の内容(例)

内容例を参考に、**学校の実態に合わせて**年間計画を立てます。全体での研修、学年会、教科部会、若プロ、研究授業等、既存の研修の機会を活用することもできます。

児童生徒の学びの変容イメージ

(文部科学省「『未来の学び』構築パッケージ)より)

ステップ1

“すぐにも” “どの教科でも”
“誰でも”活かせる1人1台端末

ステップ2

教科の学びを深める。
教科の学びの本質に迫る。

ステップ3

教科の学びをつなぐ。
社会課題等の解決や
一人一人の夢の実現
に活かす。

協働的な学び

知る・考える
使う・慣れる

授業実践で高め合う

GIGAスクール構想の実現について理解する。

- ・「GIGAスクール構想」
- ・1人1台端末の利活用
- ・学校におけるICTを活用した学習場面
- ・情報活用能力とは
- ・情報モラル
- ・著作権
- ・情報セキュリティ
- ・Chromebookの使い方
- ・WindowsPCの使い方
- ・iPadの使い方

教科で1人1台端末を活かす。

- ・教員による教材の提示
- ・カメラ機能の利用
- ・検索サイトの利用
- ・文章作成ソフトの活用
- ・プレゼンテーションソフトの活用
- ・表計算ソフトの活用
- ・アンケート機能の活用
- ・個に応じた学習

1人1台端末を活用して、教科の学びを深める。

- ・共通実践
- ・授業実践の共有
- ・研究授業
- ・相互に授業を参観
- ・模擬授業
- ・他校の視察

(授業実践の視点)

- ・共同編集機能を利用して短時間で協働学習を行うことができる。
- ・協働学習を行い、意見を集約したり、広げたりすることで対話的な学びを支援することができる。
- ・カメラ機能を使って、考察したこと等を発表や共有することで学びを深めることができる。
- ・学校、学級の壁を越えた交流授業を行うことができる。
- ・アンケートで集約したデータを文章にまとめて発表するなど、複数の機能を組み合わせて短時間で効果的に学びを深めることができる。
- ・児童生徒が自ら端末を用いて、使用するアプリを選択し、表現することができる。

1人1台端末を活用して、教科の学びをつなぐ。

- ・共通実践
- ・授業実践の共有
- ・研究授業
- ・相互に授業を参観
- ・模擬授業
- ・他校の視察

(授業実践の視点)

- ・児童生徒が自ら端末を用いて、文房具として自在に扱うことができる。
- ・教科の枠を超えて、既習事項や調べた知識を用いて問題解決に役立てることができる。
- ・それぞれの児童生徒が自ら設定した目標に向けて、ICTを活用しながら情報を収集し、整理・分析、まとめ・表現しながら学習の成果や過程を振り返り・改善することができる。

6 GIGA校内研修のもち方(例)

今まで行ってきた全体での研修、学年会、教科部会、若プロ等の機会を活用し、組織的・計画的にGIGA校内研修を実施します。

① 全体での研修会

- ・職員会議や職員終礼後等の短時間で実施するミニ研修
- ・外部講師による講義・演習
- ・研究授業(事前研究会・事後整理会)
- ・模擬授業・録画等による授業の再現と分析
- ・近隣校と連携した研修
- ・学校全体での共通実践
- ・先進校の視察を実施し、全体への還流

研修したことの
「実践」が大切ね!

実践したことは
「共有」
しましょう!



② 学年や教科等のまとまりでの研修会

- ・学年会での共通実践、意見交流
- ・教科部会での共通実践、意見交流
- ・優秀マスター動画やICT活用動画を視聴し、端末を活用した授業づくりについて交流する。
- ・「優秀・マスター教員に学ぶ」を受講し、学んだことを交流する。

「よそいき」ではなく、
「普段着」の研修にしよう。

③ 若プロでの研修

- ・日常的OJTで情報交換
- ・定期的研修(ランチタイム研修等)



あの時の「失敗」を
「共有」してくれたので、
うまくできたよ。
おかげでたくさんのが
得られたよ!

④ その他

- ・教員相互の授業参観週間の設定
- ・県教員総合研修センターの各種サポートの活用
- ・先進校への視察

指導主事マルチサポートの
お申し込み待ってます!
研修講座案内124~126ページ参照してね。



7 GIGA校内研修 年間計画の作成

「GIGA校内研修 年間計画」を作成し、GIGA校内研修の目標とプロセスを明確にしましょう。以下の様式を参考に A3用紙1枚程度にまとめてください。

※この様式は、**各校の実態に合わせて変更することも可能**です。

例えば、学力向上ロードマップや年間研修計画等を作成していれば、そこにGIGA校内研修を入れて、一元化することも可能です。

令和5年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

課題

手順① 昨年度の成果と課題を整理する

※令和5年度の年間計画や実践報告などを参考に、自校の昨年度の取組の成果と課題を整理しましょう。

校内研修のアイデア

手順③ 「①成果と課題」から「②目標(めざす姿)」に到達できるように、どのような校内研修が必要か、アイデアを出す

※研修の目的に応じて、研修の形態もいろいろ工夫してみましょう。

例えば、常に「全体研修」ばかりではなく「少人数グループでの研修」を実施することも考えられます。参加人数が少なくなる分、参加者のニーズやレベルに焦点化した研修内容にしやすいです。

また、「ビデオ会議」「動画や資料の閲覧」といった ICT を活用した研修の形態もぜひ検討してみてください。時間や距離、場所などの制約を超えた研修が実現しやすくなります。

※学校や児童生徒の実態をふまえ、自校の「強み」や「弱み」を整理し、意識することも大切です。

目標「令和6年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

手順② 目標(めざす姿)を考える

※「誰が」「どんなことをできるようになる」のか具体的に描きましょう。

※学校教育目標とのつながりも意識しましょう。

参照：【本冊子】「スタートブック 5 GIGA校内研修の内容(例)」

【文部科学省】「教員の ICT 活用指導力チェックリスト」「情報活用能力の体系表例」

スマートスクールネット（SSN）の教員総合研修センター様式より、「GIGA校内研修 年間計画」の様式及び「GIGA校内研修の進め方（参考資料）」を、**ダウンロード**できます。



令和6年度 GIGA校内研修 年間計画

立 学校

GIGA校内研修推進リーダー()

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月			
5月			
6月			
7月			
中間 目標			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
中間 目標			
1月			
2月			
3月			

手順④ 1年間の研修を計画する

※手順③の「校内研修のアイデア」を年間計画に配置、構成しましょう。
 ※「いつ」「誰が」「どのようなテーマで」をイメージしながら年間の研修を計画していきます。計画しながら「校内研修のアイデア」を追加したり、修正したりしていきます。
 ※研修に関連する学校研究や学校行事などを行事の欄に記入してご活用ください。

手順⑤ 中間目標を設定する

※学期末などの区切りで、中間目標を具体的に設定しておくことで計画の進捗状況を確認したり、計画を改善したりする目安になります。

手順⑥ 全体を俯瞰し、目標が達成できる計画になっているか再考する

※必要に応じて、計画を加えたり変更したりします。

8 GIGA校内研修 実践報告の作成

年度末には、GIGA校内研修の目標とプロセスを振り返り、1年間の成果と課題を明確にし、「GIGA校内研修 実践報告」を作成しましょう。以下の様式を参考にA4用紙1枚程度にまとめてください。（この様式は、各校の実態に合わせて変更することも可能です。）

令和6年度 GIGA校内研修 実践報告		学校名：〇〇市立〇〇小	
	担当	関連する	
<p>学力向上ロードマップや年間研修計画等に一元化した場合、学力向上ロードマップや年間研修計画に実施状況、成果や課題等を記載して提出してください。</p>			
中間目標			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
中間目標			
1月			
2月			
3月			
目標「令和6年度末にめざすICTを活用した学びの姿」			
成果			
課題			

様式は、スマートスクールネット（SSN）の教員総合研修センター様式よりダウンロードできます。

手順② 実施した校内研修を記入する
 ※年度当初に立てた計画をもとに、実施した校内研修を修正しましょう。（この様式は各校の実態に合わせて変更することも可能です。）
 ※2、3月に関しては実施前であれば、計画のままで構いません。

手順① 目標（めざす姿）を記入する
 ※年度当初に立てた目標（めざす姿）を個々に転記しましょう。

手順③ 成果と課題を挙げる
 ※1年間の取組を振り返り、成果と課題を挙げましょう。

手順④ 次年度の取組に生かす
 ※次年度の目標設定や具体的な取組に生かしましょう。

提出締切：令和7年2月28日（金）

ファイルの提出について：

- ①実践報告の内容を管理職に確認してもらってください。
- ②GIGA校内研修推進リーダーが、スマートスクールネット（SSN）のGIGAスクールライブラリのWebサイトからアップロードしてください。

9 GIGA校内研修推進リーダー研修

目的 GIGAスクール構想の実現に向けた役割を理解し、校内研修を企画・運営する力を身に付ける。

対象 GIGA校内研修推進リーダー（原則、各校1名）

第1日 4月22日(月) (校種別 GIGA 副校長・教頭・部主事研修と合同実施)【ライブ配信】

- ・実践発表
- ・講義 「Next GIGA」(※校種別の内容)
- ・協議 「校内研修の推進に向けて」(※各校内で協議する。可能であれば校長も参加)
- ・準備する物 **令和6年度 GIGA校内研修 年間計画**



校内研修 全教員 授業実践

第2日 【ハイフレックス(集合型または、ライブ配信から選択)】

各校の教育課題に応じて、以下より**1つ選択**する。

- ・6月17日(月)PM **内容** デジタル・シティズンシップ
- ・7月31日(水)PM **内容** 学習者用デジタル教科書
- ・11月5日(火)PM **内容** 個別最適な学びの在り方

※令和3~5年にGIGA 校内研修推進リーダー研修を受講していない場合は、集合型を選択することが望ましい。



校内研修 全教員 授業実践

第3日 12月2日(月)<AM 高・特> <PM 中>【集合型(教員総合研修センター)】

3日(火)<AM 小 Windows> <PM 小 Google> (校種別※小学校は端末別)

- ・グループ協議 「これまでの取組を終えて」
- ・講義 「次のステップに向けて」(※校種別の内容)
- ・準備する物 **校内研修の取組を総括した発表資料(成果と課題)**



校内研修 全教員 授業実践

提出物 **実践報告(締切:令和7年2月28日)**

10 GIGAスクールライブラリ

GIGAスクールライブラリ(「※スマートスクールネット→オンライン研修」に掲載)に、自由に学ぶことができるオンデマンド動画や GIGA 校内研修の参考となる資料があります。

※スマートスクールネット用の ID・パスワードをご準備ください。なお、臨時的任用講師、再任用教諭等については、各校に付与しているゲスト ID を用いてログインして下さい。

個別最適な学び



・GIGAスクールライブラリのオンデマンド動画リスト

GIGAスクールライブラリ

Google(Chromebook) Teacher Center

対象：県立学校、市町立学校(ただし、小山市、白山市、志賀町、中能登町、七尾市の小中学校は除く)

★：視聴することが必須の動画
☆：複数の動画のうち、該当する教科等の動画の視聴が必須

g1-1	ステージ 1	5 5 5秒でわかる「GIGAスクール構想」Q & A【全】※スマートスクールネットへのログインが必要
g1-2	ステージ 1	GIGAスクール構想の実現【R3.4.26公開】
g1-3	ステージ 1	はじめての Google for Education gacco【全】48分14秒 緑 gaccoへの登録とログインが必要です。
g1-4	ステージ 1	はじめてのG Suite (G Suite アプリの使い方)【全】55分 ※GIGA HUB WEB内のリンク集。リンク先の動画が英語の音声になる場合があります。その場合は、 日本語音声対応へのリンク(母国の日本語を学ぶ) をクリックしてください。 ①Google Driveの使い方[3分54秒] 1[0:31] 2[0:18] 3[0:20] 4[0:33] 5[0:27] 6[0:26] 7[0:45] 8[0:34] テスト ②Google ドキュメントの使い方[4分41秒] 1[0:38] 2[0:17] 3[0:13] 4[1:33] 5[0:28] 6[0:58] 7[0:38] テスト ③Google Classroomの使い方[6分11秒] 1[0:25] 2[0:18] 3[0:29] 4[0:36] 5[0:22] 6[0:58] 7[0:26] 8[0:21] 9[0:59] 10[1:19] テスト ④Google フォームの使い方[4分40秒] 1[0:40] 2[0:17] 3[1:42] 4[0:41] 5[0:32] 6[0:48] テスト

Microsoft(WindowsPC) Microsoft教育センター

対象：市町立学校(小山市、白山市、志賀町、中能登町、七尾市の小中学校)

★：視聴することが必須の動画
◆：この中から1つ以上必須
☆：複数の動画のうち、該当する教科等の動画の視聴が必須

M1-1	ステージ 1	5 5 5秒でわかる「GIGAスクール構想」Q & A【全】※スマートスクールネットへのログインが必要
M1-2	ステージ 1	GIGAスクール構想の実現【R3.4.26公開】
M1-3	ステージ 1	はじめてのWindows10【全】 ①Microsoft Whiteboardの使い方 1[3:10] 2[3:22] 3[3:31] 4[3:02] ②カメラアプリの使い方 1[2:58] 2[2:06] 3[2:07] ③Office Lensの使い方 1[2:04] 2[2:18] ④フォトアプリの使い方 1[2:49] 2[2:15] 3[3:29] 4[5:40]
M1-4	ステージ 1	はじめての Teams【全】 ①Microsoft Teamsの概要 1[2:09] 2[1:15] 3[1:56] 4[1:46] 5[2:27] ②チーム/チャネルの作成・メンバーの追加 1[9:07] 2[3:16] 3[2:58] 4[2:13] 5[2:12] 6[2:39] ※YouTube ③チーム/チャネルの使い方 1[2:10] 2[2:08] 3[2:37] 4[1:51] 5[2:37] 6[2:41] ※YouTube ④遠隔会議の設定/通知・記録管理 1[3:11] 2[2:48] 3[1:17] 4[1:35] 5[1:09] 6[1:32] 7[1:29] ※YouTube

|| GIGAに関するサポート

GIGAスクール構想実現に向けた各校の校内研修及び教員の授業づくりを応援します!!

1 指導主事マルチサポート

今年度、「指導主事派遣サポート」と「GIGA出前サポート」を統合して、「**指導主事マルチサポート**」が始まりました。「**オンライン**」で実施するサポートの充実も図ります。

GIGA
に関する
サポートもOK!

学校のニーズ
に応じて
カスタマイズ

一人からでも
受講可能



各校種・各教科に対応します。
地域全体や**少人数**など様々な人数に対応します。
研修申込システム内の「サポート仮申込」よりお申し込みください。

2 GIGA電話サポート

GIGAスクール構想の実現に向けて、各校で実施される校内研修計画の企画・運営等について、電話で相談を受けます。**GIGA校内研修推進リーダー**や**管理職**で困っていることがあればご相談ください。

GIGAスクールサポート課
076-298-1613(直通)



GIGA校内研修スタートブック2024

令和6年3月22日 発行

石川県教員総合研修センター

〒921-8153 石川県金沢市高尾町ウ 31 番地

TEL 076-298-3515(代表)

076-298-1613(GIGA スクールサポート課直通)